(一) 第80号 (毎月1回25日発行) 小田原市報 昭和31年11月25日(日曜日) (昭和29年10月15日 第三種郵便物認可)

小田原市報

第80号
発行所
小田原市役所
小田原市本町1の138
編輯兼発行人
滝 貴 郎
定価 一部 三円

11月26日～12月2日

秋の火災予防運動

火の元検査などを実施

いよいよ炭火シーズンです。急迫之そ一、月二十六、旬美炭に焚き最も火の注意、目ふかり二月三日まで、おなじく注意ふかつ冬山火才の一週間にあたつて全なりとなるり、も火本部にて国一、西十炭火予防運動を実施されます。

市防災本部では、この運動として、炭火による火災の防止に重点は注ぎ、火の元検査などを実施されます。

自分の火は自分で消す、火の元検査、火の元確認、火の元点検、火の元注意、火の元点検、火の元注意、火の元点検、火の元注意

財政事情の公表

昭和31年度上半期分

緊縮財政で「赤字を克服」

まえがき

本年度の一般市会に提出されました、昭和三十一年度上半期の財政事情の公表を行なうに当たり、市政の運営に対する市民の御理解と御協力とにより、財政の健全化を図ることは、誠に有難いことであります。

ひるがえって、本市財政事情を見ますと、昭和三十年度以前の累積赤字の解消に苦しみ、なお今年度の予算編成に当たっても、市税の減収等、厳しい状況にあります。

農家を出発点のとする日本の国は、戦争の敗北により、国土の大部分を失い、国民の生活は、ほとんどの物資を失い、ただ、ただ、ひたすらに、国の再建のみを念願として、日夜、国民の生活の向上に努力しつつあります。

ここに、おいて、本年度の財政計画は、昭和三十年度以前の赤字の解消を目的として、その計画の概要は、次のとおりであります。

一、一般会計

監査公表

監査委員会第号）

この又は地方自治法第百九十九条第一項の規定に基づき小田原市役所各支所の業務について監査執行したので同条第八項の規定により次の通り公表する。

昭和三十一年十月十日

小田原市監査委員　井上孝之助

同　原三喜雄

監査対象

監査員　田辺一雄

監査員　鴨居一郎

職員の配置状況について

各支所における職員の配置状況について、本年八月一日現在の職員数を調査した結果は次の通りである。

(1) 市庁内の職員の配置状況について

支所の数は、本年八月一日現在で、大窪支所、早川支所、足柄支所、桜井支所、酒匂支所、国府津支所、豊川支所、片浦支所、下曽我支所、上府中支所、曽我支所の計一二支所であるが、これらの各支所の職員数は、別表の通りである。

(2) 職員の配置状況について

各支所の職員の配置状況については、支所の数が多いため、監査員の分担制度を設け、監査員は、各支所の職員の配置状況について、本年八月一日現在の職員数を調査した結果は、別表の通りである。

三、共通的事項

職員の配置状況について

各支所における職員の配置状況は、別表の通りであるが、職員の配置状況については、支所の数が多いため、監査員の分担制度を設け、監査員は、各支所の職員の配置状況について、本年八月一日現在の職員数を調査した結果は、別表の通りである。

監査対象

監査員　鴨居一郎

昭和三十一年七月一日から同月末日まで

昭和三十一年七月一日から同月末日まで

昭和三十一年七月一日から同月末日まで

第六回 関東ソフト・ボール大会終る

敢斗した印刷局小田原工場

闘病ソフト・ボール競争大会は、神奈川、静岡両県の国立病院の代表選手が、日頃の闘病生活の鬱憤を晴らすかのように、熱心な試合を展開しました。

この大会は、昭和三十一年度の関東ソフト・ボール大会として、第六回目に当たるもので、今年は、静岡県の浜松、沼津、三島、伊豆長岡、熱海、静岡、清水、藤枝、焼津、御前崎、掛川、袋井、浜松市、磐田、森の二十四チームが参加して、十月二十一日（文化の日）午前十時から、小田原市の国立病院グランドで開催されました。

大会には、来賓として、静岡県ソフト・ボール協会の方々、小田原市の各関係者、一般の方々の応援もあり、第一日目には、それぞれの予選試合が行われ、第二日には、それぞれの準決勝、決勝戦が展開され、熱戦の結果、高校生の部では、静岡県立浜松北高校が、一般の部では、東京都立高校が、優勝の栄冠を獲得しました。

なお、今回は、特別賞として、最高ヒット賞、最高ホームラン賞、最高奪三振賞、最高防御賞、最高盗塁賞、最高投手賞、最高捕手賞、最高内野手賞、最高外野手賞、最高ベスト・ナイン賞、最高ベスト・ナイン賞、最高ベスト・ナイン